

取組点検指標を用いた取組確認結果（西三河地域）

1 背景

- 水循環再生地域行動計画に定めた取組を着実に推進するため、各地域協議会に設置した行動計画フォローアップチームが中心となり、行動計画の進捗状況を点検・把握するために「取組点検指標」を平成 20 年度に取りまとめ、昨年度時点修正を行いました。
- 「取組点検指標」は「地域共通の取組」（下水道整備や雨水貯留・浸透施設の設置補助などの地域で広く実施されている基盤的な取組）と「流域別の取組」（地域住民による水源地と上下流交流、湿地の保全など地域に根ざした取組）が設定されています。
- 「地域共通の取組」は水循環の 4 つの機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」、「ふれあう水辺」の項目で、「流域別の取組」は水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」、「川、里海づくり」の項目で設定されており、平成 21 年度から取組状況の確認を行っています。

2 平成 25 年度取組実績

- 西三河地域水循環再生地域協議会構成員 41 団体が実施した 69 の取組（地域共通の取組 20 流域別の取組 49）について実績を把握した（集計結果は別表参照）。
- 地域共通の取組について、「きれいな水」の代表的な取り組みである、生活排水処理施設の整備（下水道整備、合併処理浄化槽の普及）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が年々上昇している。また、下水道施設の高度処理の導入も着実に進んでいます。
- 流域別の取組について、合流式下水道の改善や調整池の整備、干潟の造成等のハード整備が着実に実施されています。また、矢勝川河川清掃や油ヶ淵浄化デー等の住民主体の清掃活動や、環境保全型農業の推進、「水のかんきょう楽校」等のイベントも継続的に実施されています。
- 以上のことから、イベント等への参加数は増減があるものの、下水道整備等や調整池等のハード整備は着実に実施されており、水循環に関する取組は着実に推進されています。

項目		取組数	代表的な取組					
地域共通の取組	きれいな水	10	○生活排水処理施設の整備 H21 H25					
	豊かな水	3	汚水処理人口普及率 (%) 83.3 → 87.2					
	多様な生態系	5	下水道普及率 (%) 69.4 → 74.3					
	ふれあう水辺	2	高度処理実施率 (%) 69.4 → 74.0					
流域別の取組	矢作川等流域	22	合併処理浄化槽の基数割合 (%) 24.0 → 31.3					
			取組	H21	H22	H23	H24	H25
	境川等流域	9	水源域の森林整備					
			間伐面積 (ha)	322.2	245.2	283.7	263.4	239.8
	油ヶ淵等	11	調整池の整備 (油ヶ淵)					
整備容積 (m3)			2,763	414	6,567	11,878	326	
三河湾沿岸域 (知多半島等)	7	油が淵等の整備活動						
		のべ参加人数 (人)	3,380	3,350	3,050	4,032	4,378	
			ごみの量 (kg)	2,040	1,300	3,740	5,860	4,100

西三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組	指標とする項目					指標とする項目を報告する機関	指標の説明		
	取組内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度				
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体	汚水処理人口普及率(%)	汚水処理人口普及率(%)	汚水処理人口普及率(%)	汚水処理人口普及率(%)	汚水処理人口普及率(%)	県下水道課	汚水処理人口普及率=汚水処理人口/行政人口×100		
	・下水道や農業集落排水処理施設等を整備するとともに、合併処理浄化槽の普及を図るなどにより生活排水対策を推進する。	83.3%	84.8%	86.0%	86.9%	87.2%				
	下水道の整備	下水道普及率(%)	下水道普及率(%)	下水道普及率(%)	下水道普及率(%)	下水道普及率(%)	県下水道課	下水道普及率=下水道処理人口/行政人口×100		
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備及び適正な維持管理を推進する。	69.4%	70.9%	72.4%	73.5%	74.3%				
	高度処理施設の導入(下水道整備の内)	高度処理人口普及率(%)	高度処理人口普及率(%)	高度処理人口普及率(%)	高度処理人口普及率(%)	高度処理人口普及率(%)	県下水道課	高度処理実施率=高度処理人口/行政人口×100		
	・公共用水域の水質保全のため下水道施設の高度処理化を促進する。	69.4%	70.9%	72.4%	73.2%	74.0%				
	農業・漁業集落排水施設の整備	農業集落排水処理人口普及率(%)	農業集落排水処理人口普及率(%)	農業集落排水処理人口普及率(%)	農業集落排水処理人口普及率(%)	農業集落排水処理人口普及率(%)	県農地整備課	農業集落排水処理人口普及率=農業集落排水処理人口/行政人口×100		
	・農村生活環境の改善並びに公共用水域等の水質保全のため、農業集落排水施設の整備及び適正な維持管理を推進する。	3.4%	3.4%	3.1%	3.9%	3.9%				
	合併処理浄化槽の設置	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	県水地盤環境課	・合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽の基数割合=合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100		
		・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。	10.4%	10.4%	10.1%	9.9%			9.3%	
		合併処理浄化槽の基数割合(%)	24.0%	26.7%	28.2%	29.7%			31.3%	
	コミュニティプラントの整備	コミュニティプラント処理人口普及率(%)	コミュニティプラント処理人口普及率(%)	コミュニティプラント処理人口普及率(%)	コミュニティプラント処理人口普及率(%)	コミュニティプラント処理人口普及率(%)	資源循環推進課	コミュニティプラント処理人口普及率=コミュニティプラント処理人口/行政人口×100		
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のためコミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%				
	干潟・浅場の保全・再生	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	各構成員	干潟・浅場を造成した面積		
	・多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	4.7ha	8ha	3ha	0.5ha	-				
	河川等公共用水域水質監視	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	県水地盤環境課	・河川BOD(西三河地域のみ)の環境基準達成率 ・海域COD(衣浦湾のみ)の環境基準達成率		
		・公共用水域の水質常時監視を実施する。	96%	92%	96%	96%			91.6%	
		海域(COD)の環境基準達成率(%)	67%	33.3%	67%	67%			67%	
	水生生物調査	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	県水地盤環境課	水生生物調査の実施箇所数、のべ参加人数		
		・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	82箇所	68箇所	53箇所	68箇所			64箇所	
のべ参加人数(人)		2,906人	2,508人	2,174人	2,882人	2,311人				
河川・海岸の清掃	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	各構成員	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、のべ参加人数			
	・河川・海岸の清掃を行う。	141回	186回	198回	619回			528回		
	実施箇所数	152箇所	159箇所	188箇所	341箇所			287箇所		
	のべ参加人数(人)	25,452人	30,801人	39,861人	81,768人			59,501人		
	間伐面積(ha)	1904ha	1,941ha	1,840ha	1,551ha			1,555ha		
豊かな水	森林の整備	間伐面積(ha)	間伐面積(ha)	間伐面積(ha)	間伐面積(ha)	県森林保全課	間伐を実施した面積			
	・水源かん養機能などの多面的機能を高度に発揮する森林の整備・保全等を推進する。	1904ha	1,941ha	1,840ha	1,551ha			1,555ha		
	雨水貯留・浸透施設の設置(浄化槽の転用を含む)	雨水貯留施設の設置数	雨水貯留施設の設置数	雨水貯留施設の設置数	雨水貯留施設の設置数			雨水貯留施設の設置数	各構成員	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	・かん養機能向上のための雨水貯留浸透施設の設置を推進する。	206箇所	231箇所	163箇所	156箇所			211箇所		
雨水貯留浸透施設設置補助件数	340件	271件	286件	358件	309件					
ため池の保全	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	各構成員	構成員が整備したため池の箇所数			
・多面的機能を持つため池の保全を推進する。	62箇所	52箇所	48箇所	48箇所	50箇所					

めざす姿	指標とする取組	指標とする項目					指標とする項目を報告する機関	指標の説明
	取組内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
多様な生態系	多自然川づくり	整備延長(km)	整備延長(km)	整備延長(km)	整備延長(km)	整備延長(km)	県河川課	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	-	3km	1km	1km	5km		
	干潟・浅場の保全・再生(再掲「きれいな水」)	干潟・浅場造成面積 (ha)	干潟・浅場造成面積 (ha)	干潟・浅場造成面積 (ha)	干潟・浅場造成面積 (ha)	干潟・浅場造成面積 (ha)	各構成員	干潟・浅場を造成した面積
	・多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	4.7ha	8ha	3ha	0.5ha	-		
	ため池の保全(再掲「きれいな水」)	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	各構成員	構成員が整備したため池の箇所数
	・多面的機能を持つため池の保全を推進する。	62箇所	52箇所	48箇所	48箇所	50箇所		
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	各構成員	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、のべ参加人数
	・河川・海岸の清掃を行う。	141回	186回	198回	619回	528回		
		実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数		
		152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所		
		のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)		
	25,452人	30,801人	39,861人	81,768人	59,501人			
水生生物調査(再掲「きれいな水」)	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	県水地盤環境課	水生生物調査の実施箇所数、のべ参加人数	
・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	82箇所	68箇所	53箇所	68箇所	64箇所			
	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)			
2,906人	2,508人	2,174人	2,882人	2,311人				
ふれあう水辺	多自然川づくり(再掲 多様な生態系)	整備延長(km)	整備延長(km)	整備延長(km)	整備延長(km)	整備延長(km)	県河川課	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	-	3km	1km	1km	5km		
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	各構成員	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、のべ参加人数
	・河川・海岸の清掃を行う。	141回	186回	198回	619回	528回		
		実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数		
		152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所		
		のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)		
	25,452人	30,801人	39,861人	81,768人	59,501人			

西三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目				
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
矢作川等流域 【課題】 ○間伐等の維持管理不足が山地崩壊、流木発生の原因のひとつと考えられる。 ○手入れ不足の人工林の増加が生物多様性にも影響を与えている。 ○ダムや堰などが多く設置され、連続性の分断や流況の変化による生物の生息環境に変化をもたらしている。 ○沿岸域の一色干潟は三河湾の浄化のため、将来にわたって保全が必要である。 【目標】 ☆上下流連携した森林整備、瀬や淵など自然環境の保全による流域一帯の川づくり ☆山から海までをつなぐ鳥、カエル、チョウ、トンボなど、いろいろな種類の生物の移動ルートの確保 ☆総合学習の場として利用できる干潟など親水空間の保全 ☆水に入って泳ぎたいくなる良好な溪流・水辺環境 <中流> ☆水に入って遊びたいくなる良好な水辺環境 <下流> ☆濁りや色が気にならない水辺に近づける場所がたくさんある <干潟> ☆アサリやウミナなど生物が豊かな干潟	森づくり	水源地域の森林整備 ・(財)矢作川水源基金の水源林対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備及び作業路新設への助成を行う。 おと川リバーヘッド大作戦 ・自然環境啓発イベントとして、森林の除間伐、枝打ち、植樹等を行う。 豊田市100年森づくり構想 ・平成19年3月に「豊田市森づくり条例」を制定。 ・森林の施業方法等を示す「豊田市100年の森づくり構想」を策定する。 自然環境基礎調査の実施 ・気候・気象、里山、植物、菌類、動物など自然環境に関する基礎的な調査。	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、一色町、吾妻町、幡豆町、幸田町、県土地水資源課 (※報告機関：県土地水資源課)	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)
	322.2ha	245.2ha	283.7ha	263.4ha	239.8ha			
	参加人数 (人)	参加人数 (人)	参加人数 (人)	参加人数 (人)	参加人数 (人)			
	128人	18人	43人	36人	43人			
	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)			
	1,477ha	1,404ha	1,383ha	1,112ha	1,137ha			
	調査実施の有否	調査実施の有否	調査実施の有否	調査実施の有否	調査実施の有否			
	有	有	有	有	有			
	郷づくり	湿地の保全 ・湿地・湿原の保全整備を行う。 湿地の保全 ・湿地・湿原の保全整備を行う。 農業利水施設の環境整備 ・生態系、景観に配慮した農業水利施設、ため池、水路の整備。 ・「愛知県ため池保全構想」に基づくため池保全の推進。 水とみどりの森の駅事業 ・守り育てるべき「自然環境」と守り育てるための「地域活動」があり、市民が自然を学び、体験できる機会が提供され、交流が生まれる所を「森の駅」と位置づけ、森の駅(4箇所)、森の駅育成地区(5箇所)を指定し、各駅で環境保全活動、自然観察会等を開催する。	岡崎市 豊田市 西三河農林水産事務所	保全活動回数(日)	保全活動回数(日)	保全活動回数(日)	保全活動回数(日)	保全活動回数(日)
	24日	24日	21日	21日	21日			
	保全箇所数	保全箇所数	保全箇所数	保全箇所数	保全箇所数			
	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所			
	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数			
	1箇所	-	-	-	-			
	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)			
	1,356人	1,987人	2,541人	6,481人	6,735人			
	まちづくり	合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。 総合治水対策の推進 ・浸水被害の軽減を図るため、ため池の改修、貯留地の整備を行う。 調整池の整備 ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。 水田貯留施設の設備 ・流域全体の治水安全度を向上させるため、排水路に調整柵を設置し、上流の水田の雨水貯留機能を増大させることで浸水被害の軽減を図る。	岡崎市 岡崎市 安城市 安城市	対策箇所数	対策箇所数	対策箇所数	対策箇所数	対策箇所数
	-	-	-	-	-			
	スクリーン数(箇所)	スクリーン数(箇所)	スクリーン数(箇所)	スクリーン数(箇所)	スクリーン数(箇所)			
	9箇所(累計)	9箇所(累計)	12箇所(累計)	24箇所(累計)	59箇所(累計)			
整備延長(m)	整備延長(m)	整備延長(m)	整備延長(m)	整備延長(m)				
-	-	-	-	-				
整備容量(m ³)	整備容量(m ³)	整備容量(m ³)	整備容量(m ³)	整備容量(m ³)				
-	1,874m ³	2,013m ³	8,624m ³	4,168m ³				
			整備箇所	整備箇所				
			1箇所	1箇所				
			平成24年度から追加					

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目					
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
矢作川等流域	里川・里海づくり	干潟・浅場の造成 ・漁場生産力の回復、水質浄化機能の向上を図るため、干潟浅場を造成する。	県水産課	干潟・浅場造成面積 (ha)	干潟・浅場造成面積 (ha)	干潟・浅場造成面積 (ha)	干潟・浅場造成面積 (ha)	干潟・浅場造成面積 (ha)	
				4.7ha	4.2ha	3.1ha	1.5ha	2.6ha	
		矢作川水辺プラザ事業 ・岡崎市が矢作川沿いの大門河川緑地と大門公園、堤下公園を一体に整備し、国が堤防の拡幅と低水護岸整備等を行う。	岡崎市	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	
				1.67ha (累積)	1.67ha (累積)	1.67ha (累積)	1.67ha (累積)	1.93ha (累積)	
		緩傾斜護岸の整備 ・堤防耐震化とともに、安全で人々が快適に水辺に近づけるよう堤防の緩傾斜化を図る。	西三河建設事務所	整備延長 (m)	整備延長 (m)	整備延長 (m)	整備延長 (m)	整備延長 (m)	
				850m	36m	35m	45.5m	388.7m	
		矢作川沿岸の水質保全 ・開発時に事業者と事前協議を行い、濁水流出の未然防止に努めている。 ・流域住民交流による水質保全活動を実施する。 ・工場排水、開発工事現場、廃棄物処分場などのパトロール	矢作川沿岸水質保全対策協議会	パトロール回数	パトロール回数	パトロール回数	パトロール回数	パトロール回数	
				131回	131回	131回	148回	145回	
		川の清掃活動等	幸田町	実施回数 (回)	実施回数 (回)	実施回数 (回)	実施回数 (回)	実施回数 (回)	
					4回	17回	27回	27回	27回
		実施箇所数		実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	
					2箇所	13箇所	22箇所	22箇所	22箇所
		のべ参加人数 (人)		のべ参加人数 (人)	のべ参加人数 (人)	のべ参加人数 (人)	のべ参加人数 (人)	のべ参加人数 (人)	
				376人	1,924人	7,688人	7,789人	7,781人	
		水生生物調査 ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、豊橋河川事務所、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	
				50箇所	46箇所	43箇所	43箇所	36箇所	
		1,943人	1,679人	1,834人	1,963人	1,400人			
干潟観察会の実施 ・干潟は豊かな生態系を育むとともに、海域の水質浄化にも大きな働きをもっていることから、このような干潟の機能を学習し、干潟の保全活動につなげる。	西尾市	実施回数 (回)	実施回数 (回)	実施回数 (回)	実施回数 (回)	実施回数 (回)			
		1回	1回	1回	2回	3回			
		参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)			
		141人	208人	17人	99人	158人			
「水のかんきょう楽校」(水源かん養林事業) ・明治用土地利用改良区は、百年近く前から先人達が掲げた「水をつかうものは水をつくれ」を合い言葉に、長野県根羽村ほかで「水源の森」約525haを守り続けている。 ・この取組の一環として、小中学生を中心とした「水のかんきょう楽校」を開校し、水の大切さ・水源の森の役割・「水循環」などを地球的な規模として考え、学ぶ機会を提供する。	明治用土地利用改良区	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数			
		31回	29回	38回	18回	18回			
		啓発事業参加者人数 (人)	啓発事業参加者人数 (人)	啓発事業参加者人数 (人)	啓発事業参加者人数 (人)	啓発事業参加者人数 (人)			
		6,094人	6,276人	3,911人	1,201人	1,302人			
		連携団体数 (団体)	連携団体数 (団体)	連携団体数 (団体)	連携団体数 (団体)	連携団体数 (団体)			
		14団体	21団体	21団体	21団体	21団体			
乙川サミットの開催 ・乙川に関係する団体(学校、漁協、美しくする会、岡崎市、愛知県、国など)が一堂に会して、各団体の活動や事業を紹介し、お互いの活動に対して理解を深めるため、定期的に乙川サミットを開催する。	岡崎市	参加団体数 (団体)	参加団体数 (団体)	参加団体数 (団体)	参加者数 (人)	参加者数 (人)			
		討論 4団体 参加団体 不明	18団体	18団体	15人 (0団体)	204人			
船遊び(乙川観光船事業) ・観光基本計画に基づき観光振興アクションプランの重点プロジェクトの1つとして「家康公のまち」魅力創造事業で特に岡崎公園・八帖蔵通り・大樹寺周辺を結ぶエリアを岡崎観光の各拠点となる重点地区として乙川を利用した新たな観光資源として観光船を浮かべ観光客の誘致を図る。	岡崎市	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)	参加者数 (人)			
		3,894人	3,043人	2,467人	1,431人	1,728人			

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目				
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
境川等流域 【課題】 ○上流2市2町(大府市、豊明市、東郷町、みよし市)は生活排水対策重点地域に指定されており、生活排水対策の推進が必要となっている。 ○ため池は多面的な機能も持つことから、その保全を図ることが必要である。 ○総合治水対策として、雨水貯留浸透施設の設置が必要である。 ○河川周辺の水辺は生物の貴重な生息・生育域であり、水辺に親しむ場所でもあるので、自然環境の保全・再生が 【目標】 ☆多様な動植物が見られる河川環境 ☆保水・かん養や生物の住処をもたらすため池の回廊<上流> ○魚の姿がたくさん見える。 ○水に入って遊びたくなる水辺 ○濁りや色が気にならない。 <中・下流> ○ヨシなど河畔の植物が多く、在来種が多い。 ○眺めたり散歩したい水辺	森づくり	水源涵養林育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。	愛知用土土地改良区	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)
	郷づくり	湿地の保全 ・湿地・湿原の保全整備を行う。	刈谷市	除草作業実施回数 (回)	除草作業実施回数 (回)	除草作業実施回数 (回)	除草作業実施回数 (回)	除草作業実施回数 (回)
	まちづくり	ため池の保全 ・「蜻蛉の会」が、ため池付近の清掃、ピオトープ整備、緑化活動等を実施する。	大府市	ピオトープづくり	ピオトープづくり	-	新池とその周辺の清掃	新池とその周辺の清掃
				ろ過スクリーンの設置数	ろ過スクリーンの設置数	ろ過スクリーンの設置数	ろ過スクリーンの設置数	ろ過スクリーンの設置数
		合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	刈谷市	7基	7基	3基	3基	-
				7箇所	9箇所	3箇所	3箇所	-
	特定都市河川浸水被害対策法に基づく取組 ・境川流域において、流域水害対策計画の策定を目指し総合治水対策を推進。 ・流域対策として雨水貯留浸透施設の整備、ため池の保全等。	名古屋市、刈谷市、豊田市、安城市、東海市、大府市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、東郷町、東浦町、県河川課	-	-	-	-	-	
			浸透トレンチ	浸透トレンチ	浸透トレンチ	浸透トレンチ	浸透トレンチ	
			11,000m ³	事業終了	事業終了	事業終了	事業終了	
			調整池の整備	調整池の整備	調整池の整備	調整池の整備	調整池の整備	
	里川・里海づくり	明徳寺川の清掃活動 ・河川の清掃を行う。	東浦町	5回	8回	6回	10回	10回
				18箇所	17箇所	14箇所	17箇所	21箇所
		水生生物調査 ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	724人	696人	593人	273人	765人
				20産地	24産地	25産地	27産地	28産地
				721人	719人	711人	707人	642人
油ヶ淵等	郷づくり	環境保全型農業の推進 ・環境にやさしい農業を普及させるための試験研究や調査を実施する。 ・環境にやさしい農業に取り組む農家の活動を支援する。	県農業経営課	20産地	24産地	25産地	27産地	28産地
				721人	719人	711人	707人	642人
	まちづくり	調整池の整備 ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。	安城市	2,763m ³	414m ³	6,567m ³	11,878m ³	326m ³
				110人	60人	90人	67人	36人
生活排水モデル地区事業 ・毎年、油ヶ淵流域の1町内会を生活排水モデル地区に指定し、生活排水に関する学習会及び水質浄化実施啓発用品を配布し、7月に実践活動を中心とした生活排水対策を実施する。 ・アンケート調査、水質調査を実施し、実践活動の効果を確認する。	安城市	110人	60人	90人	67人	36人		
		2,763m ³	414m ³	6,567m ³	11,878m ³	326m ³		

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目				
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
油ヶ淵等 【目標】 ☆湖畔の散歩道において不快に感じなく、水辺で湖底が見られる。 ☆湖内全域で魚が息できる。 ☆川の辺りを眺めたり散歩が楽しい。 <湖内> ○魚、鳥、カエルなど、いろいろな種類の生き物がたくさんいる。 ○透視度30cm以上、透明度1m以上 <流入河川> ○魚の姿がたくさん見える。 ○臭いや、濁りや色が気にならない。	里川・里海づくり	油ヶ淵水質浄化イベントの実施(アクションin油ヶ淵) ・油ヶ淵の水質浄化の取組発表や講演などを行い、油ヶ淵地域住民の方々の水質浄化への意識の高揚を図る。	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)
				約400人	約400人	約400人	約350人	約300人
		水田貯留施設の設備 ・流域全体の治水安全度を向上させるため、排水路に調整柵を設置し、上流の水田の雨水貯留機能を増大させることで浸水被害の軽減を図る。	安城市	平成24年度から追加			整備箇所	整備箇所
							-	-
		油ヶ淵の浄化対策 ・汚濁物質を除去することを目的とし、浄化施設を整備。 ・湖底のヘドロを覆砂により封じ込み、栄養塩類の溶出を防いで水質の浄化を図る。 ・油ヶ淵の湖岸や流入河川の水辺にヨシ等の水生植物を再生させ、水質の浄化を図る。(植生浄化)	安城市、知立建設事務所	浄化施設の汚泥処理量(安城市)	浄化施設の汚泥処理量(安城市)	浄化施設の汚泥処理量(安城市)	浄化施設の汚泥処理量(安城市)	浄化施設の汚泥処理量(安城市)
				-	4m ³	4m ³	4m ³	2m ³
				覆砂面積(ha)(知立建設事務所)	覆砂面積(ha)(知立建設事務所)	覆砂面積(ha)(知立建設事務所)	覆砂面積(ha)(知立建設事務所)	覆砂面積(ha)(知立建設事務所)
				8.6ha	0.8ha	1.3ha	1.2ha	-
				植生浄化(m)(知立建設事務所)	植生浄化(m)(知立建設事務所)	植生浄化(m)(知立建設事務所)	植生浄化(m)(知立建設事務所)	植生浄化(m)(知立建設事務所)
				120m	-	-	-	264m
		油ヶ淵水辺公園の整備 ・天然湖沼で、広々とした水面を持つ油ヶ淵の特徴を生かし、周辺区域を含めて公園として整備。 ・環境学習の場の整備。	知立建設事務所	整備状況	整備状況	整備状況	整備状況	整備状況
				・公園実施設計 ・橋梁詳細設計 ・地質調査 ・希少種保全調査	・公園実施設計	・公園実施設計	・一部造成工事着手	・一部、工事着手
		港湾環境整備事業 ・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。	衣浦港務所	整備面積(ha)	整備面積(ha)	整備面積(ha)	整備面積(ha)	整備面積(ha)
				-	-	-	-	-
		油ヶ淵周辺の清掃活動(油ヶ淵浄化デー) ・毎年7月第4日曜日に流域4市(碧南市、安城市、西尾市、高浜市)と流域住民が清掃活動を行う。	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)
				3,380人	3,350人	3,050人	4,032人	4,378人
				ごみの量(kg)	ごみの量(kg)	ごみの量(kg)	ごみの量(kg)	ごみの量(kg)
				2,040kg	1,300kg	3,740kg	5,860kg	4,100kg
水生生物調査 ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数		
		6箇所	1箇所	6箇所	4箇所	2箇所		
		のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)		
		119人	29人	250人	273人	24人		
油ヶ淵流域水環境モニタリング ・流域住民・県・市の連携協働による水環境モニタリングを実施する。	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	湖内COD(mg/L)	湖内COD(mg/L)	湖内COD(mg/L)	湖内COD(mg/L)	湖内COD(mg/L)		
		平均 5.9 mg/L	平均 6.7 mg/L	平均 6.6 mg/L	平均 7.0 mg/L	平均 6.7 mg/L		
		湖内底層DO(mg/L)	湖内底層DO(mg/L)	湖内底層DO(mg/L)	湖内底層DO(mg/L)	湖内底層DO(mg/L)		
		平均 5.7 mg/L	平均 5.3 mg/L	平均 5.5 mg/L	平均 9.0 mg/L	平均 4.9 mg/L		
		湖内透視度(cm)	湖内透視度(cm)	湖内透視度(cm)	湖内透視度(cm)	湖内透視度(cm)		
		平均 32.9 cm	平均 25.2 cm	平均 28.9 cm	平均 25.2 cm	平均 31.3 cm		

